

(別紙5)

整理番号 2017P-141
補助事業名 平成29年度 障害者グループホームの建築 補助事業
補助事業者名 社会福祉法人 白皇山保護園

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

高齢及び重度の知的障がい者であっても、地域社会で快適・安全に生活できるような支援設備と支援に十分な広さを持ち、バリアフリーな構造及びスプリンクラー設備を兼ね備えた定員4名のグループホーム1棟を、平成30年3月までに建築整備し4月から運営開始する。

(2) 実施内容

障害者グループホームの建築 (<http://www.nodumien.jp/friendly/keirin29>)

木造平屋建て1棟、床面積：131.38㎡、定員4名

付帯設備：暖冷房設備 設置面積：103.98㎡

スプリンクラー設備 設置面積：119.45㎡



外観



玄関横標識



LDK



居室（自立支援ベッド配備）

(別紙5)



浴室（特殊浴槽配備）



テレビとローボード



冷蔵庫



洗濯機



ダイニングテーブル・チェアセット



平成 30 年 4 月 13 日 竣工式

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

今回のグループホーム整備により、高齢及び重度の知的障がい者も地域での生活が可能となり、障がい者の地域移行促進につながると予想される。

3 補助事業に係わる成果物

本事業に係わる印刷物等
広報誌「野づ美」の発行



**新グループホーム
もうすぐ開所!**

平成29年度の大きな事業として、競輪の補助を受け、新たなグループホームを一棟、現在建築中です。この4月には開所予定となっている完成間近のグループホームの概要を次に紹介いたします。

- ・住所…富山市八尾町上ヶ島
- ・構造…木造平屋建て
- ・延床面積…一三一・三八㎡
- ・定員…四名
- ・付帯設備…暖冷房・スプリンクラー設備
- ・備考…各居室電動ベッド付き、特殊浴槽設置、リビングにモニターカメラ設置。

今回建築しているグループホームは、高齢利用者、重度利用者の方にも利用していただけるホームとして検討し、建築の運びとなりました。これで春からは、グループホーム利用者が総勢三六名となります。

次号では、グループホームの内部も紹介いたします。おたのしみに!

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 社会福祉法人白皇山保護園

(シャカイフクシホウジンハクオウザンホゴエン)

住 所： 〒939-2376

富山県富山市八尾町福島10

代 表 者： 理事長 西浦 博 (ニシウラ ヒロシ)

担 当 部 署： 野積園総務課 (ノヅミエンソウムカ)

担 当 者 名： 総務課長 山中 正樹 (ヤマナカ マサキ)

電 話 番 号： 076-455-3535

F A X： 076-455-3536

E - m a i l： nodumien@nodumien.jp

U R L： <http://www.nodumien.jp>